



パリュース取扱いのビール

「やまなし大使」として地方貢献
同社の地域貢献に対する想いは、印刷や伝統工芸の領域にとどまらず、山梨県の魅力を伝える酒類事業（特にワイン、ビール、日本酒など）にも広がっています。佐藤社長は、県外に向けて山梨の魅力発信する「やまなし大使」として活動しており、これは単なる名誉職ではなく、地域経済への実質的な貢献を伴った取り組みです。生産者が丹精込めてつくった価値を、必要とする人へ正しく届けるために、佐藤社長は行動として自ら酒類販売免許を取得しました。プロダクトの販路づくりや情報発信を通じて、地方の良いものを積極的に広めていく。その挑戦によって現場から着実に、信頼のネットワークを構築してきました。

世界に向けた日本文化発信
パリュースの取り組みは、国内に留まりません。外務省との信頼関係を土台に、佐藤社長は日本の優れた製品や伝統工芸を、世界各国の大使館や在外公館へ紹介する活動を継続しています。商品を並べるだけではなく、背景にある文化や職人の技、使い手に伝わる価値を丁寧に伝え、「日本の良いものが正しく評価される場」を広げてきました。その取り組みの成果例としては、ルクセンブルクの日本大使館における「天皇誕生日祝賀レセプション」に招待され、商品の紹介をする機会を得たということが挙げられます。さらに現地の販売店舗では、商品



日本の林業を支えられる木材の有効な利用として、家具販売も手掛けている。
(写真はパリュース取扱いの家具)

世界がフィールドの「価値プロデューサー」
「私たちは価値を提供する会社なんだ」と佐藤社長は語ります。印刷会社として培ってきた「情報」を形にする「技術」に加え、官公庁案件で磨かれた正確さ・品質管理・納期遵守の姿勢を基盤に、地方の伝統、職人の技、そして世界のニーズをもう一度結び直す。パリュースの挑戦は、伝統産業に新しい息吹をもたらしています。単なる商品化ではなく、背景にある文化や物語、作り手の想いを含めて価値として編み直すのです。手に取る人にきちんと届く表現や販路を整えながら、選ばれた仕組みづくりを進めています。100年企業が「価値プロデューサー」へと進化していくその姿は、変化の時代においても「信頼」を起点に新しい可能性を切り拓けることを示し、日本企業の未来像を具体的に描き出しています。守るべきものを守りながら、必要な変化を受け入れて地方と世界をつなぎ直す。その歩みは、これからの日本企業が進むべき道を照らす羅針盤となるでしょう。



対話と信頼が切り拓く共生ビジネス

競争から共生への変革
パリュースの中核は印刷事業。取引先の多くは財務省や厚生労働省などの中央官庁で、まさに「国家の仕事」を支える存在と言えます。中央官庁の入札では、創業年数の実績が容易に継承されない厳しい条件があるなか、地道に信頼を積み重ねてきました。しかし現在、印刷業界は激しい価格競争の渦中にあります。そこで同社が掲げたのは「競争のない場所へいく」という明確な意思でした。そこで選んだのが「共生（コラボレーション）」



「伝統×革新」で価値を再定義
業種の枠を超え社会をつなぐ
株式会社パリュース

「五七の桐」がデザインされた漆器
象徴的なのが、日本の伝統工芸「漆（うるし）」を活用した商品展開です。全国漆器工業協同組合連合会のポスター制作を受注したことを契機に、印刷の枠を越え、外務省案件として在外公館で使用される「日本国の政府機関を象徴する紋章（五七の桐）」入り漆器（食器）を受注。同社の佐藤社長は福井県鯖江市の漆器組合へ自ら足を運び、信頼関係を構築。今では鯖江市長とも深く通じ合う関係を築いています。地方産業の活性化と伝統技術の継承を同時に進めるこの挑戦は、「住み続けられるまちづくりを」「産業と技術革新の基盤をつくる」という目標の実践そのものです。

<パリュースの漆プロダクト例>

日本橋の鞆職人と漆のコラボレーション。漆塗りの持ち手を組み合わせ、機能性と芸術性を発揮。

持手が漆で塗られた洋傘。伝統技術を継承する傘店と鯖江の漆職人の技術を融合。

漆でコーティングされた高級感あふれるカードケース。

伝統息づく漆プロダクト
パリュースがプロデューサーする漆製品には、使い捨てではなく「大切に使い続けるほど価値が増す」という日本の美意識が息づいています。これまでに、傘、バッグ、杖といった製品が生み出されています。

ジェイスパートナーズメッセージ Message

◆ 経年変化を愛する文化を世界へ

SDGs は特別な取り組みではなく、私たちの日々の意思決定の基準だと考えています。日本の伝統工芸や職人の技を、現代のデザインと結び直して次世代へつなぐ。伝統を大切にすることは、ただ保存することではなく、暮らしの中で使い続けられる形に磨き上げ、価値として循環させることです。作り手に適正な利益が戻る仕組みを整え、良いものを長く使い、経年変化さえ愛する文化を世界へ届けることで、これからも地方産業の持続に貢献していきます。さらに、多様なパートナーと共創し、地域の誇りが次の仕事を生む流れを広げていきます。これからもご支援のほど、よろしくお願いいたします。

株式会社パリュース
代表取締役 CEO
佐藤文昭氏 (左)

2026年1月、パリュースはJACEより「SDGs 活動認証」を受けました。写真は授賞式のもの。

株式会社パリュースについて Company

- 住所：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-2-1 エムプレイス日本橋 3F
- 創業：大正 13 年 (1924 年)
- 取引先：厚生労働省・法務省・外務省・文部科学省・財務省・防衛省 他 中央・地方官庁 並びに独立行政法人 住宅金融支援機構・伝統的工芸品産業振興協会 公益財団法人全日本弓道連盟 他一般企業

<https://vls-corp.org/>



パリュースのオンラインショップサイト
<https://selectshop-vls.com/>